

「学習と部活動の両立」に取り組む、大村高校の様子をお知らせします。



大高インフォメーション

ホップステップ

JUMP!

〒856-0835 長崎県立大村高等学校 大村市久原 1-591 TEL.0957(52)2660

<https://www.news.ed.jp/omura-h/>



思い出の大高坂を後に



点はつながる

長崎県立大村高等学校
校長 原 昌 紀

“ You can't connect the dots looking forward; you can only connect them looking backwards. So you have to trust that the dots will somehow connect in your future. You have to trust in something — your gut, destiny, life, karma, whatever. This approach has never let me down, and it has made all the difference in my life.”

(将来を予め見据えて、点と点をつなぎあわせることなどできない。できるのは、後からつなぎ合わせることだけだ。だから、我々は今やっていることがいずれ人生のどこかでつながり、実を結ぶことを信じるしかない。自分の根性、運命、人生、カルマ…、何にせよ我々は何かを信じないとやっていけないのだ。私はこのやり方で後悔したことはなく、むしろ、今になって大きな差をもたらしてくれたと思っている。)

これはスティーブ・ジョブズ (iTunes や、iPhone、iPad 等の製品を大ヒットさせた、現在のアップル社の創設者) が 2005 年にスタンフォード大学で講演を行った時の有名な言葉です。英語の教材等で読んだことがある人もいかもしれません。ここでいう dots とは、一つ一つの出来事や経験という意味です。—「将来を見据えて点をつなぐことはできない。振り返ってみて初めて点をつなぐことができるのだ」— 実に深い言葉です。

スティーブ・ジョブズは、かつてカリグラフィー (西洋や中東などにおける文字を美しく見せるための手法) を学

んだことがありました。まだ将来の夢も持てずにいた頃です。この時彼は、カリグラフィーを学んだ経験が後に開発することになるパーソナルコンピューターに革命を起こすとは知るよしもなかったはずですが、彼は、コンピューターに革命を起こすためにカリグラフィーを学んでいたのではなく、カリグラフィーを学んでいたことがコンピューターの革命につながったのです。

自分自身を振り返ると、私は小学生時代から十数年剣道が続けました。勿論、将来の夢を見据えて剣道を始めたわけではありません。しかし、教師になって、剣道を通して学んだことや経験は今の自分を支えてくれています。過去の経験や出来事は、その時々で振り返ってみた時に役に立つことや参考になることが多いことに気付かされます。まさに点はつながっているのです。

高校生の皆さんも、「振り返ってみるとあの時の出来事や経験が今の自分のためになっている」ということがあるのではないのでしょうか。長い人生の中で、人は様々な経験をします。それは楽しかったり、嬉しいものばかりではなく、苦しくきついものもあります。「なんでこんなことしなくてはいけないの?」という経験もあるでしょう。学習、部活動、学校行事、ボランティア活動、友人との付き合いなど、高校生活は様々な経験や出来事で溢れています。もしかすると今やっていることに意味や価値を見いだせない時もあるかもしれませんが、しかし、これから皆さんが切り拓いていく人生の中で、それらはきっとつながっていきます。将来、何がどういう形で役に立つかわからない、多くの “dots” をここ大高で刻んでおきたいものです。

さて、3年生は、いよいよ卒業式を迎えます。3年間で刻んだ、そしてこれから刻むであろう多くの “dots” が、皆さんの前途ある未来につながっていくことを祈念しています。

“You have to trust that the dots will somehow connect in your future.”

卒業生表彰

県優良児童生徒表彰 片岡 真優奈(3-7:西大村中出身)
 県高体連卒業生顕彰 ソフトテニス部 福田 千尋
 (3-5:諫早中出身)
 県高文連卒業生顕彰 美術部 立野 梨梨(3-6:郡中出身)

優良生徒表彰

県教育委員会表彰・県高文連表彰
 放送部 山口 雄大(3-7:千綿中出身)
 全国高体連ボート競技優秀選手表彰
 漕艇部 田崎 翔(3-6:郡中出身)

生徒会活動功労賞表彰

ソフトテニス部(4名)
 福田 千尋(3-5:諫早中出身) 中村 笑弥華(3-8:玖島中出身)
 當麻 純加(3-6:玖島中出身) 本村 好(3-8:広田中出身)

漕艇部(6名)
【男子】
 田崎 翔(3-6:郡中出身) 石井 見基(3-3:桜が原中出身)
 辻 周太(3-2:郡中出身)
【女子】
 楠 ここの(3-1:桜が原中出身) 坪森 彩希(3-5:玖島中出身)
 江口 彩花(3-6:西大村中出身)

放送部(1名)
 山口 雄大(3-7:千綿中出身)

文芸部(1名)
 濱口 菜摘(3-5:桜が原中出身)

生徒会(5名)
 大浦 菜(3-2:玖島中出身) 奥山 ひとみ(3-6:西大村中出身)
 林田 晃(3-6:西大村中出身) 片岡 真優奈(3-7:西大村中出身)
 松尾 晶(3-7:北諫早中出身)

部活動大会結果等

【剣道】 令和2年度長崎県高等学校新人体育大会剣道競技大会 令和2年11月7日(土)、8日(日)
 男子個人戦 ベスト8 中尾 崇人(2-2:桜が原中出身) ※九州大会(2月、沖縄県)に出場

【水泳】 令和2年度第30回長崎県高等学校冬季室内水泳競技大会 令和2年12月13日(日)
 〈50mバタフライ〉 第1位 田中 智志(2-4:郡中出身)
 〈100m平泳ぎ〉 第2位 保利 瞬汰(1-2:西大村中出身)
 〈50m平泳ぎ〉 第3位 保利 瞬汰(1-2:西大村中出身)

【弁論】 第4回全九州高等学校総合文化祭熊本大会 令和2年12月12日(土)
 〈弁論部門〉 優秀賞 永尾 真臣(1-2:波佐見中出身)

【吹奏楽】 第47回長崎県アンサンブルコンテスト 令和2年12月27日(日)
 打楽器三重唱 金賞
 JBA九州ソロコンテスト予選 第9回JBA長崎県ソロコンテスト 令和2年12月28日(月)
 銀賞 高比良 桜(1-5:大村中出身) 出口 優芽(2-7:大村中出身)

【テニス女子】 2021九州ジュニアサーキットマスターズ大会 令和3年1月4日(月)~6日(水)
 1回戦 大石 心(2-6:大村中出身) 0-2 野口 愛那(大分、福徳学院高)

【文芸】 大村市文化協会募集 第14回小・中学生 高校生 短歌・川柳・俳句の部 令和3年2月1日(月)

短歌の部 優秀賞 栗田 柚葉(2-5:諫早中出身)、北森 詩織(1-8:郡中出身)
 佳作 福本 栄理(2-7:郡中出身)、本村 奈々(2-6:大村中出身)、田崎 彩乃(1-7:玖島中出身)
 森 実幸希(1-7:西大村中出身)

川柳の部 優秀賞 坂本 葵唯(2-7:大村中出身)、谷口 遥祐(2-4:彼杵中出身)、酒井 大翔(1-7:苓岐市立郷ノ浦中出身)
 佳作 石松 遥花(2-8:大村中出身)、奥田 姫星(2-2:玖島中出身)

俳句の部 優秀賞 福田 結衣(1-1:郡中出身)、本田 舞香(1-5:川棚中出身)
 佳作 福本 栄理(2-7:郡中出身)、田中 美穂(2-4:桜が原中出身)、原川美咲(1-7:大村中出身)
 鳥越 桔平(1-4:玖島中出身)、三浦 珠希(1-3:福岡市立那珂中出身)

大学入学共通テスト壮行式

大学入学共通テスト前日の1月15日(金)に、共通テストを受験する3年生241名への壮行式が行われました。

最初に、原校長先生が明日からの受験について激励するとともに、「会場の雰囲気にもまれることなく平常心で試験に取り組むことの大切さと現役生は最後の最後まで伸びる」と話され、上から読むのと下から読むのでは意味が大きく変わる「大逆転」の発想を促す文章が紹介されました。次に、学年主任の阿比留先生からは、これまで3年間の取り組みを信じ、悔いが無いように「普段通りを意識して、特別なことをしないこと、何かしらの変化があることまでを想定しておくこと」という話がありました。また、進路主任の中野先生からは、問題用紙の注意事項をしっかりと読み、落ち着いて問題にあたるなど受験上の注意がありました。

下級生からも力強い激励がありました。激励のことは尾崎美雨さん(1-4)から、1年生からは1年生全員で作った千羽鶴が贈られました。また、3年生の生徒玄関には、2年生全員からの激励メッセージボードも設置されました。

3年生を代表して、中村翔空さん(3-4)が「適度な緊張感を持って、全力で取り組みましょう」と力強く決意表明をしました。

最後に、中里先生がエールを送り、全員で「1・2・3・パッション!」と拳を高く突き上げて決意を固めました。



SSH 活動紹介

◆繊維と染色の科学 (1年家政科)

12月14日(月)、家政科1年生は、活水女子大学から寺田貴子先生をお招きし、「繊維と染色の科学」講座を開催しました。

これは、講義と実習を通じて「繊維」と「染色」について、科学的かつ実感を伴った理解の獲得を目的として実施したものです。2日後に行われる家政科の「染色体験実習」と連携することで、相互に補完しあい、学習効果が一層高まるようにしました。

当日は、繊維の種類や添加する金属による染色や発色の違いについて、理論と実験の両面から理解することができ、非常に実施効果の高い講座となりました。



◆奈良女大サイエンスコロキウムにて発表

12月26日(土)、標記コロキウムに本校数理探究科女子7名(3班)が参加しました。これは「研究をともに作っていこう」をテーマに、理系の女子生徒をメインにした研究発表とワークショップの2部構成です。生徒同士および大学研究者と一緒に議論することで、研究がより良い方向に向かうにはどうすればよいかをともに探っていくことを目的としたものです。

参加した生徒は初めての対外発表、しかもZoomということでもかなり緊張したようでしたが、徐々に硬さもとれ、日頃の探究の成果をきちんと伝えることができました。また、他校の生徒とのディスカッションを通じ、今後の取組についてのヒントを多く得ることができました。

オオキンケイギクの生態	芝原 万智、松崎 美海、立石 有気
多良山系の河川水中に含まれる塩化物イオンについて	青木 嘉志乃、古賀 千尋
温度変化による卓球ラバーの反発係数の違い	林田 彩夏、木村 友紀



◆課題発見セミナー (2年家政科)

1月22日(金)、家政科2年生は、「企業課題の解決策を考えよう」というテーマで、課題発見セミナーを実施しました。講師は山口大学の陳内秀樹先生です。あいにくZoomによるオンライン講義でしたが、対面となら変わらない非常に充実したセミナーとすることができました。

前半のテーマは企業課題の解決についてで、どのような手順で考えていくとよいかということを講義していただきました。後半は知的財産権についての講義で、身近な例を取り上げながら、1つ1つ丁寧に説明していただきました。ごく普通にある風景写真を見て、どこに知的財産があるのか全く見えなかった生徒達でしたが、講義の最後には知的財産の山として見るようになることができました。

このセミナーを通じて「課題解決のためのアイデアを形にする方法」や「知的財産権についての理解の大切さ」など、多くのことを学びました。3年次の家庭科「課題研究」でテーマを設定したり、その成果を公開するときに大いに役立つことと思います。



◆課題探究中間発表

1月29日(金)、数理探究科・普通科2年生は、本校の体育館等を会場として課題探究中間発表会を開催しました。当日は指導助言者として長崎県工業技術センター所長 橋本 亮一様をはじめ5名の先生をお迎えしました。2年生のほとんどの生徒にとって本格的な発表会は初めてとあって、準備段階では不安がっていた生徒も多く見かけましたが、いざ発表会が始まると、どの班もこれまでの探究の成果を自信たっぷりに発表していました。指導助言をお願いした先生方からは、「年々レベルが向上している」「教科書をうのみにせず実際に検証しようとする姿勢がよい」等の講評を頂きました。最終発表は今年の7月です。探究はまだまだ続きます。今回のアドバイスを活かして、一層充実した探究にして欲しいと思います。



家政科活動紹介

第2学年

読み聞かせ講習会

12月16日(水)、家政科2年生は、五教寮にて西諫早読み聞かせの会ぐるんばの方々をお招きし、読み聞かせ講習会を実施しました。絵本の読み聞かせの仕方や楽しみながらいろいろなお話の仕方を教えていただき、実際に自分たちでもグループで読み聞かせをしました。

「読み聞かせは簡単だと思っていたが、実際に教えていただいたコツを意識しながら読み聞かせをしてみると相手に伝えることが難しいと感じました。もっと練習して上手に読めるようになりたい。」「読み聞かせの時は、子どもの方へ本を傾けるなどのポイントを学び、将来に活かしていきたい。」というような生徒の感想がありました。



第1学年

染色体験実習

12月16日(水)、1年家政科40名が、やまぼうし工房の岩永由紀先生にご指導いただき、染色実習を行いました。洗濯ばさみや割りばし、輪ゴムなど身近にある物を用いて布のたたみ方を各自で工夫し、個性豊かな模様を藍染めができました。

「初めての藍染め体験はとても楽しかった。」「使う道具や配置によって、全く違う模様ができることに魅力を感じた。」などの感想がありました。



全学年

家政科集会

12月16日(水)、第1回の家政科集会をようやく実施することができました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で開催が遅くなりましたが、内容は、1年生の自己紹介、2年生は3年生と1年生へのメッセージ、3年生からは進路体験発表がありました。家政科の生徒たちにとって、貴重な交流の機会となりました。

「昨年のように3学年の生徒がグループに分かれて交流することはできませんでしたが、1年生の自己紹介を通して個性豊かな後輩であることが伝わってきました。」「進路体験発表では緊張しましたが、自分の受験を通して後輩に伝えたいことを話すことができました。この体験発表を受験の時に役立ててもらえたら嬉しいです。1、2年生の皆さん、進路実現に向けて頑張ってください。」というような生徒の感想がありました。



第3学年

手話講座

1月21日(木)に家政科3年「生活と福祉」選択者11名は、大村市福祉保健部障がい福祉課主催の「手話出前講座」を受講しました。

実際に聴覚障がいの方と手話やジェスチャーを使っての会話をしたり、楽しく聴覚障がい者について学び、理解を深めることができました。

「県内には思っていた以上に聴覚障がいの方が多いことがわかった。」「聴覚障がい者の方々は緊急時などいろいろな場面で困ることなので、今後は自分も何か手助けしていきたい。」や「将来、医療現場で使えるようにさらに学んでいきたい。」などの感想がありました。

